

益田仁. "ホームレス自立支援における社会関係の回復-北九州市での調査結果から." *長崎国際大学論叢* 10 (2010): 157-168.

ホームレス問題を経済的問題としてだけでなく、社会的問題としても捉えることを目的とした論文であり、調査は自立支援センターを退所した人々がその後の職場で他人とどのように付き合っているかを調べた論文である。

調査期間：2007年8月、調査対象：ホームレス自立支援センター北九州を退所し一年経過した人62名

調査の結果、社会関係量が（質・量ともに）多い人ほど社会に信頼を寄せ、生きる意欲も高いことが明らかとなった。そのため命題と掲げられた「社会関係の回復に伴い社会への信頼が回復される」は検証された。